

令和 6 年度 第 2 回 防府市地域福祉推進協議会
会議結果 [要旨等](#)

日 時	令和 7 年 3 月 2 5 日（火） 午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 1 5 分
場 所	防府市役所本館 2 階 共用会議室 2 A ・ 2 B ・ 2 C
出 席 者	【委員】 草平委員、長谷川委員、石田委員、山崎委員、大道委員、島田委員、松永委員、肥田委員、近棟委員、中村委員、門田委員、山野委員、湯面委員、山本珠美委員、原田委員、中本委員、山本貴茂委員、讃井委員 （欠席：吉村委員、松村委員） 【行政等】 防府市福祉部長 防府市福祉部次長 防府市社会福祉協議会常務理事 【事務局】 防府市福祉総務課、生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課 防府市社会福祉協議会
傍 聴 者	あり（1 名）

※ 以下、会議結果については、発言等の要旨のみを簡略化しています。

1 開 会

2 あいさつ

<市福祉部長あいさつ>

今回の第2回協議会では、市民アンケート調査及び地区座談会の結果の御報告と、第四次計画の骨子案をお示しさせていただく。

委員の皆様からの意見を賜り、第四次計画の策定を推進してまいりたい。

3 議題

(1) 市民アンケート及び地区座談会の結果について

<事務局（市福祉総務課、市社会福祉協議会）説明>

～【資料 1】第四次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画の策定に向けて2〔骨子案について〕

【資料 2】「第四次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」策定のためのアンケート調査について（お願い）

説明～

<委員 A>

前回、アンケートや座談会のまとめは、市民の方にホームページを通じて、計画の別冊という形で紹介されたと思うが、今回も同様に行われるのか。

<事務局（市福祉総務課）>

別冊とするか、1冊の中に組み込むかは今後検討するが、結果は何らかの形でお示ししたい。

(2) 第四次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画〈令和8年度～令和12年度〉の骨子案について

<事務局（市福祉総務課）説明>

～【資料 3】第四次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画の策定に向けて（第1回連絡会議_会議資料）

説明～

<委員 B>

重層的支援体制整備事業については任意だが、山口県内では西部側からほぼ取り組みは始めている。福祉計画の策定を行いやすくするためのものであるため、防府市も進めていったほうがよいと思う。このことについて、防府市は、今後どうしていく予定か。

<事務局（市福祉総務課）>

今年度から福祉総合相談窓口を設置し、分野・属性を問わない相談窓口としての機能と、関連部署との連携機能を有しており、これは重層的支援体制事業として国が進める取り組みの1つであるため、市の取り組みとしては一歩進んだ面もあると思う。ただ、まだ十分ではないため、今後さらに包括的支援体制の構築を図っていききたい。その中で財源として必要だと判断すれば、重層的支援体制整備事業の実施も1つの方法として検討していくことになると思う。

<委員 C>

市の職員全員がボランティアに対する意識を高めて、「ボランティアの養成と活動の推進」という活動目標を、地域福祉計画の中に位置づけてほしい。

<事務局（市福祉総務課）>

庁内の職員を対象とした研修や講義を行う中で、ボランティア活動に対しても共通理解ができるよう、進めていきたいと思っている。

＜委員Ｄ＞

市民アンケートの中で、身の回りのことができなくなることへの心配が多く、身寄りのない高齢者への支援が必要だと思われる。身元保証人がいないことで医療機関・高齢者施設に入れないこともある。このような地域課題に対する実際の取り組みはまだ行われていないため、今後、地域福祉計画の骨子に盛り込んでほしい。

＜事務局（市福祉総務課）＞

確認のうえ、課題として含めるものということで検討する。

4 その他

＜事務局（市福祉総務課）説明＞

令和７年度の協議会は、第１回目を６月に、第２回目を８月に予定している。

第１回目では、現行計画の総括並びに次期計画の素案を、第２回目ではパブリックコメントの結果を踏まえた最終案をお示しする予定。

＜社会福祉協議会常務理事あいさつ＞

新庁舎になり、２階が福祉フロア一体となった。また、この４月から市と社協の間で人事交流が始まった。市との連携を深めて、計画を着実に進めていきたい。

有意義な協議ができたことを感謝申し上げます。